



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.12.8 No. 4108

12.18労働者集会に起ろう!

「戦争と大失業の時代」と闘う新たな潮流の形成に闘う労働運動の創造の端緒を切り開いた九・一八労働者集会の大成功を引き継ぎ、よりの路線を具現化し質量ともども発展させるものとして、一・二・一八労働者集会が横浜・関内ホールにおいて開催される。

大失業時代に抗する労働運動の構築こそ潮流形成の決定的課題

われわれが、新たな労働運動の潮流を形成していくうえでの決定的重要課題は、第一に、何よりも現今の大失業時代への突入一円高と長期不況下において大量首切り・合理化の嵐が吹き荒れ、そもそも労働者を保護する法律たる労基法・労組法の実質的な改悪を通して、全面的に労働者の権利を剥脱していく攻撃と対決できるのか否かということである。

そして戦後日本の労働環境を作り上げてきた、年功序列型賃金制と終身雇用制の解体を資本の側が公言し、さらには春闘における「賃下げ」攻撃に対してこれと闘い抜けるか否かどうかが、どう日本の全労働者の声を糾合できるのかどうか、ここにこそ労働運動の持つ存在意義が決定的に問われているということである。

反戦・反侵略・差別・排外主義と対決する労働運動の構築を!

第二に、資本主義経済の末期的危機の中で、日米による朝鮮侵略戦争が切迫している状況は、日本の朝鮮侵略体制に朝鮮有事体制との対決を不可避としている。

この情勢の背景にあるものは、中国・アジアの権益をめぐる経済争闘戦にあることをしっかりととみておかなければならない。数々の日本企業が丸ごと進出してきているように、日本経済の基盤は今やアメリカからアジアへとシフトし、「アジアは日本の生命線」そのものとなっている。

他方アメリカ側からみれば逆転されたアジアの権益再奪取をかけて、北朝鮮の「核疑惑」を端緒とし、日本をその視野の目標に定めているのだ。まさに双方の死活をかけた争闘戦であり、経済を軍事が補完するという一触即発の状況にあるといっても過言ではない。

ゆえに、朝鮮侵略戦争阻止へ巨万の労働者が反戦闘争へと結集することこそ、闘うアジア人民との真に連帯する道である。排外主義、差別・抑圧と闘い抜く労働運動の構築がいまこそ求められている。

国鉄闘争を水路に、連合路線と対決する労働運動を創りだそう

第三に、日本労働運動における、国鉄闘争―清算事業団闘争の戦略的位置をしっかりと確認することである。この解雇撤回闘争の帰趨如何

こそ、現今の大失業時代一貫切り攻撃の嵐を、労働者の手によって打破し、全ての労働者の共同・共有するものとして、勝利させよう力があると断言できる。吹き荒ぶ首切り・合理化の嵐は、連合の基盤である日本の基幹産業全体を覆っているではないか。労働組合とは何かという

ことが最も問われている時に、資本に与し、資本の発展の手助けをする連合の姿がより白日の下に晒される。この時にこそ連合を内から外から食い破り、日本労働運動の宝である清算事業団闘争の真実が光り輝くのだ。企業内労働組合の存立基盤が崩壊する今日の序曲の中に、結成以来の危機に直面する連合の矛盾は日々拡大する。

国鉄闘争の勝利を推進軸として、連合を打倒する労働運動を創りあげようではないか。

村山自社連立政権打倒!

そして第四は、村山自社連立政権の本質を具体的に明らかにし、村山政権を打倒することこそ階級的労働運動の進むべき道であることを鮮明にすることである。

「全面降伏」とも言える村山社会党の路線転換は、全ての労働者を激動の奔流に投げ込んでいく。小選挙区制成立から自衛隊合憲・安保堅持・原発推進・PKOルワンダ派兵・国連常任理事

国入りの表明と、その屈伏に続く屈伏には枚挙のいとまがない。その構造も、資本の利害を代弁する自民党・新生党にさえ出なかつたようなことを、社会党を政権に据えることによってこれをこなわせ、社会党を解体・一掃していくという本質を持っている。

社会党の路線転換と解体は、労働運動をめぐる状況を、総評の解散に続いて、労働者の利益を極めて不十分なながらも代表していた政党的消滅に直結している。

ゆえに声高らかに、村山政権打倒を全労働者に提起し、闘う労働者の党を創ることが必要なのだ。

「労働者の、労働者による、労働者のための政党」、「労働者の利害を代表する政党」、この建設なくして現在の情勢と対決すべき道はないといっても過言ではない。

労働運動の原点に立ち返りその復権をかけた闘いに起ろう

一・二・一八労働者集会は、以上の四つの柱を軸にして、闘う労働運動の新しい潮流を目指して開催される。

われわれは労働運動の復権にルネッサンスとも言うべき原点の闘いを自覚し、この道を進むものである。

闘う全労働者を糾合し、集会参加を全職場・全職種で呼びかけ、一大潮流を結集しよう!

たまたかう労働運動の新たな潮流をめざす。横浜市関内ホール。11時から
12.18労働者集会 (第1陣) ちば9# 9時03分 (第2陣) ちば10# 11時16分